

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ジャウマI大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Humanities and Social Sciences		
報告書提出日	2019年9月30日		
留学予定期間	2019年9月～2020年7月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： () /合計

航空券代： 130000 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 () : () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？800000 (円) /合計

正確には覚えていませんが、自分の口座の残高証明書と奨学金の証明書で提出することが出来ました。ビザを作るために多くの書類が必要となってくるし、渡航の三か月前には、申請を始めていく必要があるので早めの準備、計画を立てていくことがとても重要だと思います。

1.2. 渡航について

成田空港>マドリードの空港>Renfe でカステジョン・デ・ラ・プラナまで

renfe は渡航日の前にインターネットで買いました。

飛行機の航空券は、JAL のロングステイの種類を買いました。日付変更が往復日可能なのでとても安心です。また、マドリードに到着した時間が遅く、安全性を考えて、マドリードのホテルで一泊してから翌日カステジョンデラプラナまで向かいました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

大学からホームステイの情報がメールで送られてきます。その際に、ホームステイのプログラムに参加したいという趣旨を伝えると、出発の三か月か四か月前に大学のほうからドキュメントを送付された状態で連絡が来ます。そのドキュメントに場所の希望や、自分のプロフィールの画像を記入して送信します。その後その希望などにマッチした家族の候補を送ってきます。そこから一つの家族を選択し、その

家族を希望すると伝えると、家族の連絡先が送られてきます。そこからは、家族と値段や、持っていかなければならないものなどを聞いたりするなど、家族と連絡を取るようになります。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

VISA の必要書類を準備し、在日スペイン大使館へ行きます。長期の場合の健康診断書・無犯罪証明書が追加が必要です。無犯罪証明書は、基本地元の警察署にて書類をもらう必要があると書かれていますが、地元の住民票を持っていくことで神奈川県警でも無犯罪証明書を受け取ることが可能です。大使館で申請してからビザをもらうまでの期間は、時期や、申請を希望する人数にもよりますが、大体1ヶ月だと思います。その期間パスポートを大使館に預けなければいけないので気を付けないといけません。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

到着後 9/2 にオリエンテーションに行きました。その際に今後のオリエンテーションの日程の日をもちょうろうことが出来るので、それ以降はその日にちに従って参加します。留学生のためのオリエンテーションなので英語で行われます。個人的に ENROLMENT の手続きに時間をたくさん要しました。大学のホームページからとんで自分で行うだけではなく、現地の担当教授に私たちがこの大学で授業を受けてもいいという許可をもらう必要がある場合もあります。学生同士での協力が必要となってくるなど思いました。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC750 点以上、DELE B1 を目指して頑張ります。英語に関して、いつも大学では、英語英文学科の学生や留学生と話すことがほとんどで英語を話すので、英語の語彙を増やすことと、リスニングスキルの向上を図りたいです。スペイン語は、街中や家族とのコミュニケーションで必須なのでスペイン語コースの復習や語彙をより増やし、家族とコミュニケーションをより取っていきたいと思います。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

英語に関して、スピーキングやリスニングなどのコミュニケーションスキルは徐々に身につけてきていると感じています。しかし、より文法、語彙力の向上のために学習時間を当てる必要があると考えています。スペイン語に関して、インテンシブコースが毎日三時間あり、その授業のペースはとても速いので、毎日ついていくのに必死です。毎日ノートにまとめて、家族や友人などとコミュニケーションを積極的にとっていく必要があると考えています。

3.3. 今月の学習・研修目標

今月の学習目標は、とにかくスペイン語の授業に集中して、セミインテンシブ Spanish course で次のレベルの B1 で勉強できるようになることです。簡単なことではないので、一生懸命努力して頑張ります。英語に関しては、語彙力の乏しさを感じているので、単語帳を使って毎日学習したいと考えています。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Oral Communication in English 9:00-10:30 Introduction of English Literature 11:00-12:30 水曜日と同じ時間 Intensive Spanish Course 3:30-7:00 毎日同じ時間にあります
火	Writing in English Basic Text 1:00-2:30 木曜日に同じ時間 Intensive Spanish Course
水	Oral communication 11:00-12:30 English Literature
木	Writing English
金	Intensive Spanish Course
土	
日	

4.2. 授業について

英語で行われています。情報を聞き逃さないために必死です。宿題もかなりハードなので余裕をもってやっていく必要があります。クラスメイト達と助け合ってやっていく必要があります。先生の英語は、スペインのイントネーション、また自分の英語力が原因で聞き取りにくいこともあります。しかし、現地の English studies で勉強している生徒たちは、英語を話すことが出来るので確認をするときなど、いろいろ聞くことが出来ます。

Writing in English

授業内容：英語を academic な方法でどのような構造で、どのような方法で書くのかについて学びます。
進捗：一回の授業ごとに、academic な英語の Writing 方法について1ユニット勉強します。すべてレポートの点数で評価されるので、進捗は、あまり気にされておらず、早くはありません。課題について、とてもシビアに評価されます。授業で習った項目従い、時間をかけて書くことが重要です。

English Literature

イギリスの文学について歴史を交えながら学んでいきます。一回の授業につき一つの文学作品を学ぶのでペースは、とても速いかと思われれます。グループワークも評価対象になっているので個人での学習も重要となってきます。難しい単語が多く使われ、あまり文学に馴染みのない私にとって理解できない時が多々あります。しかし、事前に予習をすることで改善をすることが出来ます。

Oral Communication

英語の文法、リスニング、スピーキングなどコミュニケーションスキルの向上に特化した授業です。毎回の授業で、指定されたテキストをユニットごとに進めていきます。進捗はとても速いと思います。基礎的な文法事項を学ぶのでより文法力を向上させることが出来るのではないかと考えています。

4.3. 予習・復習・自習について

今の時点は、特に予習や復習に時間を当てることはほとんどありませんが、課題や、グループワークの際には準備の時間がかかりかかるとおもいます。

Writing in English 一学期に3回レポート提出

授業内容: 英語を **academic** な方法でどのような構造で、どのような方法で書くのかについて学びます。
進捗: 一回の授業ごとに、**academic** な英語の **Writing** 方法について1ユニット勉強します。すべてレポートの点数で評価されるので、進捗は、あまり気にされておらず、早くはありません。

English Literature グループ発表 **Final test**

イギリスの文学について歴史を交えながら学んでいきます。一回の授業につき一つの文学作品を学ぶのでペースは、とても速いかと思われます。

Oral Communication 指定された課題を学期終了までに終わらせる

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	ホームステイ (その他:)
----	----------------

ホストファザー、ホストマザー、娘、愛犬と暮らしています。ご飯はおいしく、外出する際などとても理解をしてくれています。時々、レストラン、カフェテリア、ビーチなどに連れて行ってくれます。今のところ充実した日々を過ごしています。また、家族はスペイン語しか話すことが出来ないので苦勞をするときもありますが、スペイン語のスキルを上げるためには最適な選択だと思います。

5.2. 課外活動について

毎週木曜日にスペイン人の友達とバドミントンをしています。また、休みの日は、カステジョンの **Centre** で買い物をしたり、**Valencia** に行ったり、ビーチへ行ったり、友達と会ったりして過ごしています。カステジョンには、**Renfe** の駅があるので、休みの日は、電車で他の町に行ったりすることができとても便利です。周りの友達は、ヨーロッパ旅行に頻繁に出かけているので私も連休が来たら行こうと考えています。

5.3. 現在までの感想

二言語の外国語を習得する必要があると、日々をかなりハードに過ごす必要があります。けれど、毎日スペインの家族やともだちと練習していく中で、彼らが話していることを理解できるようになっていると感じます。また、スペイン語が話せないことで冷ややかな目で見られたり、アジア人が少ないため、差別的な目で見られることもありますが、たくさんの温かい人とであい、助けてくれようとしてくれるのでとても感謝しています。失敗や、つらい経験が自分を前に進めていると実感させてくれると思って日々取り組んでいます。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ジャウマ I 大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies		
報告書提出日	2019年11月27日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

様々な国の人々と交流をし、自分の世界を広げることにくわえ、スペイン語の能力向上だけでなく、英語の能力の向上にも力を入れ、二つの言語を同時に上達させるためにバランスを取りつつ努めることです。英語に関して、TOEIC800、DELE B2 のレベルをそれぞれ取得することが現在の目標です。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

Oral Comunication という、Grammer , Listening, Speaking といったコミュニケーションスキルに着眼点を置いている授業や、街中や、ホストファミリーとのスペイン語での会話で、なかなか自分の言いたいことを伝えられなかったり、聞き取れなかったりするときに自分の語学力の乏しさに気づきます。また、もともと社交的な性格でないことも影響し、外国語を話すことに恐れることもおおくあります。しかし、相手が何を私に言いたいのか、日々コミュニケーションを取ることで理解できるようになってきました。例えば、留学生との会話の中で、英語をより自分から話すことが以前よりも増えてきたと感じます。失敗を恐れずに自分から発信することの大切さをしみじみ感じました。

1.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語のボキャブラリー能力を増やすことでよりスペイン語の会話力を身に付けたいです。英語も同様に、ボキャブラリー能力、また文法能力を強化させることでより語学のスキルを磨いていきたいと思います。また、より多くの人と会話をし、よりそれらの言語で話すことへ苦手意識を感じずに話すことが出来るようになることを目標に、意識して頑張っていきたいです。

2. 学修について

2.1. 授業について

英語で行われています。情報を聞き逃さないために必死です。宿題もかなりハードなので余裕をもってやっていく必要があります。クラスメイト達と助け合ってやっていく必要があります。先生の英語は、スペインのイントネーション、また自分の英語力が原因で聞き取りにくいこともあります。しかし、現

地の English studies で勉強している生徒たちは、英語を話すことが出来るので確認をするときなど、いろいろ聞くことが出来ます。

Writing in English

授業内容：英語を academic な方法でどのような構造で、どのような方法で書くのかについて学びます。
進捗：一回の授業ごとに、academic な英語の Writing 方法について1ユニット勉強します。すべてレポートの点数で評価されるので、進捗は、あまり気にされておらず、早くはありません。課題について、とてもシビアに評価されます。授業で習った項目従い、時間をかけて書くことが重要です。

English Literature

イギリスの文学について歴史を交えながら学んでいきます。一回の授業につき一つの文学作品を学ぶのでペースは、とても速いかと思われれます。グループワークも評価対象になっているので個人での学習も重要となってきます。難しい単語が多く使われ、あまり文学に馴染みのない私にとって理解できない時が多々あります。しかし、事前に予習をすることで改善をすることが出来ます。

Oral Communication 英語の文法、リスニング、スピーキングなどコミュニケーションスキルの向上に特化した授業です。 毎回の授業で、指定されたテキストをユニットごとに進めていきます。進捗はとても速いと思います。基礎的な文法事項を学ぶのでより文法力を向上させることが出来るのではないかと考えています。

2.2. 予習・復習・自習について

今の時点は、特に予習や復習に時間を当てることはほとんどありませんが、課題や、グループワークの際には準備の時間がかかりかかると感じます。

Writing in English 一学期に3回レポート提出

授業内容：英語を academic な方法でどのような構造で、どのような方法で書くのかについて学びます。

進捗：一回の授業ごとに、academic な英語の Writing 方法について1ユニット勉強します。すべてレポートの点数で評価されるので、進捗は、あまり気にされておらず、早くはありません。

English Literature グループ発表 Final test

イギリスの文学について歴史を交えながら学んでいきます。一回の授業につき一つの文学作品を学ぶのでペースは、とても速いかと思われれます。

Oral Communication 指定された課題を学期終了までに終わらせる

2.3. 語学力について

ここ最近になって、スペイン人、留学生と会話をするとき、よりスムーズにコミュニケーションを取れるようになってきたと感じます。いまでも感じる時はありますが、以前は、自分から外国語を話すときに、自分の失敗をおそれ、ただ誰かが話しているときに自分だけ何も話さないということが多かったのですが、最近では、少しずつお互い誤解を少なくするためにも、自分が伝えたいことは、自分の言葉で、失敗をしながらも伝えるようになりました。その過程は、直接的に外国語能力の大きな向上につながっているとは、言えないかもしれませんが、私にとっては大きな過程だと考えています。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
<p>ホストファミリー、ホストマザー、娘、愛犬と暮らしています。ご飯はおいしく、外出する際などとても理解をしてくれています。時々、スペイン語をはなすときにあまり理解しようと努力をしてくれなかったり、私が理解できなかったときに、理解させようとする熱意があまりなかったりすることがよくあります。今のところ充実した日々を過ごしています。また、昼ご飯が出なかったり、手伝いを義務づけられることも多々ありますが、社会勉強として、スペイン語のスキルを上げるためにも最適な選択だと思います。</p>	

3.2. 課外活動について

<p>休みの日は、カステジョンの Centre で買い物をしたり、Valencia に行ったり、ビーチへ行ったり、友達と会ったりして過ごしています。カステジョンには、Renfe の駅があるので、休みの日は、電車で他の町に行ったりすることができとても便利です。周りの友達は、ヨーロッパ旅行に頻繁に出かけているので私も連休の日が来たら行こうと考えています。また、スペイン人の友達の交流を増やすことでよりスペインの文化、言語の交流の機会を増やしたいです。</p>
--

3.3. 現在までの感想

<p>二言語の外国語を習得する必要があると、日々をかなりハードに過ごす必要があります。けれど、毎日スペインの家族やともだちと練習していく中で、彼らが話していることを理解できるようになっていると感じます。また、スペイン語が話せないことで冷ややかな目で見られたり、アジア人が少ないため、差別的な目で見られることもありますが、たくさんの温かい人とであい、助けようとしてくれるのでとても感謝しています。失敗や、つらいと感じる経験が自分を前に進めていると実感させてくれると思って日々取り組んでいます。</p>

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（1月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ジャウマ I 大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies		
報告書提出日	2020年1月28日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

スペインへの留学目的は、英語だけでなく第二外国語であるスペイン語を上達させるためです。第二言語を同時に勉強することはハードなところもありますが、大変さや、やりがいを感じながらも勉強しています。達成目標としては、DELE B2, TOEIC800です。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月は、英語での授業科目のテスト勉強に集中するためにも英語学習を重点的に勉強しました。英語のみに集中することが出来たので、集中することが出来、よかったですと思いました。勉強内容としては、それぞれの授業でのテスト範囲となる範囲を集中的に勉強しました。それぞれの授業の範囲が多いことと、母国語で勉強することが出来ないことにより、時間配分がうまくできず、完璧にこなすことが出来なかったと思うので、次の学期では、より効率的に予定を立てるために今回のことから反省して改善したいと考えています。また休憩中は、Netflix や Youtube など英語、スペイン語のドラマや、音楽を聴き、耳を鳴らすようにしていました。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月からは、スペイン語の学習に力を入れたいと考えています。理由は、4月のスペインで開催される DELE B1 の試験を受けたいと考えていることです。その試験のためのしっかりとした対策が必要となると思います。そのためにも、2月から始まる週5 一日3時間の intensive spanish course に参加し、毎日予習復習を専攻の英語の授業も手を抜かずに頑張っていきたいと思っています。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	11:00-12:30 Basic Aspects of English 13:00-14:30 Comprehension and Pronunciation Intensive Spanish Course 15:30-19:00
火	Intensive Spanish Course 15:30-19:00

水	11:00-12:30 Basic Aspects of English	Intensive Spanish Course 15:30-19:00
木	9:00-10:30 Comprehension and Pronunciation, Intensive Spanish Course 15:30-19:00	
金	Intensive Spanish Course 15:30-19:00	
土		
日		

2.2. 授業について

授業に関して、第一セメスターと第二セメスターの間に休みがなく、すぐに第二セメスターが始まったので、忙しく、情報入手も大変でした。

Basic Aspect and English では、おもに言語学について学びます。まだ、授業が始まっておらず。進度などは詳しくわかりませんが、評価方法を見る限り宿題は多めだと思われます。

Comprehention and Pronunciation では、おもに英語の発音について学びます。

進度として他の授業と進度はゆっくり目だと思います。前の学期と比べて、英語の授業にも慣れ、理解も深まってきていると思います。

Intensive Spanish Course に関しては、週に五回 一日三時間 で行われます。毎日英語の授業と両立しながら、少し大変になるとは思います。

2.3. 予習・復習・自習について

Basic aspects of English, English Comprehension and Pronunciation

復習が主な勉強法になってくると思います。宿題も定期的に出されるので情報を漏らさず、注意深く集中して聞くことが必要になってきます。質問などが、あったら、講師の先生に、躊躇せずに積極的に質問していこうと思います。

Intensive Spanish Course : Intensive コースに関しては、毎日三時間で行われるので、毎日新しい情報を頭に入れ、毎回復習して、新しく更新していかなければなりません。4月に **DELE B1** を受験しようと考えているので、作文を中心に練習していこうと思います。また、面接もありますので、スペイン人の人とも積極的にスペイン語で会話していこうと思います。

2.4. 語学力について

英語

回りくどく話したり、不自然な表現で伝えてしまうときはありますが、言いたいことはすべて伝えられるようになったし、コミュニケーションを友達と前より十分にとれるようになったと思います。より、**expression** と単語をより学んで、**Netflixs** のシリーズや音楽を利用して、リスニング力も強めたいです。

スペイン語：スペイン人が話すことは、大体理解できるようになりました。ただ、会話力、単語力に関しては、まだまだだと感じているので、その学習を中心に頑張りたいです。

両言語に共通して、コミュニケーションをするにあたって、言語の不完全さを理解しつつ、積極的に話そうとするようになり、より話すようになったと思います。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
<p>現在は、ホームステイと一緒に暮らしていますが、学生と住むという経験をしてみたいと考えているので、ルームシェアをすることについても考えています。ホームステイで、いろいろなことを学びました。（スペインの文化、食べ物、習慣など）また、あまり大人数で住んだことがなかったので、集団で行動することに対するコツをみに付けるなど、とても社会勉強になったと考えています。スペイン語に関しても、毎日、家族の話を聞いていたり、話しかけてみることで、上達につながってきていると思います。</p>	

3.2. 課外活動について

<p>休みの日は、友達の家で日本食を披露したり、カフェテリアに行って勉強をしたり、友達とヨーロッパ旅行に行くこともあります。せっかく、スペインで滞在しているので、ヨーロッパを旅行するのがより簡単ですし、スペイン内を回ることもすぐにできるので、そういった機会も、勉強と両立させながら積極的に作っていきたいと思っています。また、一人で過ごす時間よりも、積極的に友達と会おうという意欲が増しました。なぜなら、違う国から来た人と過ごしてみることで、言語だけでなく、いろいろな物事の考え方を知ることが出来るし、自分についてより知ることが出来るということが分かったからです。</p>

3.3. 現在までの感想

<p>スペイン語と英語を同時に学ぶということは、とても Challenge なことだと思います。しかし、英語だけでなくスペイン語を話せるということで、より多くの人と出会える機会が大幅に増えます。同じ学科の学生と、私と同じような交換留学生たちと話すときは、英語を話し、その他の学科の人たちとや、家族や、町の人たちと話すときは、スペイン語を話すので、両方の言語と関わる機会があります。私にとって、それはとてもバランスが取れていいと思います。また、より人とコミュニケーションをしたいと意欲が増し、たくさんの仲間が出来たとおもいます。また、スペインにきてから、内気だった私でも、少し社交性を身に付けることが出来たと思います。留学前に聞いた、留学で学ぶことは、言語だけではないという言葉は聞きましたが、それはこういうことを意味していたんだなと納得しました。</p>
--

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	3 年次
派遣先大学 (国)	ジャウマ I 大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies	履修言語	英語	
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 3 月			
報告書提出日	2020 年 5 月 14 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall semester	9 月 9 日 ～12 月 18 日 (週)	1 月 7 日 ～1 月 22 日	派遣交換留学先の国際センターの人によるオリエンテーションや、その大学の担当のチューターの先生に直接連絡を取ることを通して、履修登録を行いました。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Fall semester	Oral Expression in English	45 時間 1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	毎週、月曜日と水曜日に開講されました。一回の授業は、90分です。内容として、授業で必要とされるテキストブックをもとに、グループワークと個人的なワークが組み合わされて行われました。主に、文法、ボキャブラリー、リスニング、会話などの英語学習の授業でした。評価方法として、二冊のテキストブックを仕上げる事、先生との英語でのインタビューテスト、記述式のファイナルテストで行われました。インタビューテストの勉強としては、授業中に做った単語、イディオムを覚えそれをテストで使えるように練習しました。ファイナルテストの勉強として、単語だけでなく、表現、文法事項の見直しも行いました。課題のテキストブックは、かなり量があったので、早めに取り組み始めました。

Fall Semester	Writing in English Basic Text	45 時間	<p>この授業では、1セメスターを通して、英語でのエッセイの書き方、大事な要素を学びながら、実際に三つのエッセイを書いて先生に提出しました。授業内では、グループワークも行われて、チームで短いエッセイを書くという作業も時々行われました。評価方法は、その三つの授業内容にもとづいて先生に支持されたお題を複数の中から選びそれについて書くエッセイ（一度先生が手直ししてくれます。それを訂正して、そのエッセイをよりよくして再度提出します。）、テキストブックの提出とファイナルテストで評価されます。それに向けて私が行ったことは、エッセイが先生によって訂正されたらできるだけ早めにそれを直していました。また、課題のテキストブックもかなりの量があったのでできるだけ早めに取り組み始めました。ファイナルテストに関しては、授業中に習ったエッセイについての重要なポイントについてや、英文が用意されてそこでその英文では作者が何を一番伝えたいのかなどについて聞かれる問題がありました。そこで、私は、授業中に取ったノートや教科書を中心に勉強しました。</p>
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	
Fall Semester	Introduction of English Literature	45 時間	<p>この授業では、イギリス文学について幅広く学んでいきます。たくさんの作家や文学作品について触れていくので、毎週多くのページの本を読む必要がありました。評価方法は、グループでのプレゼンテーションとファイナルテストでした。プレゼンテーションに関しては、一人の作家の生涯、文学作品のスタイルなどを発表しました。事前の準備に、その文学作品を読んだり、その本のスタイルを確立させたり、また、それを英語で発表するため、発表の練習をしたり、英語で資料作成したりするなど、かなりの時間を要しました。ファイナルテストも、授業内で学んだ多くの作家、文学作品について出されるのですべての作品の内容、文章を頭に入れておく必要がありました。対策として、一つのノートにすべての作家と文学作品の重要な要点をまとめて活用しました。</p>
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

学習するうえで心がけていたことは、英語で受ける授業の中で、できるだけ効率よく聞けるように、英語でのノートを作ったり、質問があったら必ず躊躇せず質問をしたりすることです。英語でノートを取ることで、理解が出来ない部分があったとしても焦らず、先生が言ったことをそのまま書いて、その後しっかり確認が出来ます。もし、日本語でノートを書くと、訳すのに時間がもったかかりますし、分からなかったらその場で戸惑って聞かなければいけないことを聞き逃してしまう恐れがあると思います。そういうことから、まずはできるだけ先生の言ったことをそのまま英語で書くということをしていました。また、日本の大学では積極的に質問をするということは少ないかもしれませんが、海外では、言葉が分からず、分からないことをそのままにしていたら、ずっと分からないままおいていかれてしまいます。また、自分が分からないということを黙っていても誰も気づいてくれません。だから、私は、授業中何か疑問に思ったことがあったら、授業後にでもすぐに先生の所に行って質問するようにしていました。

1.4. 語学力について

留学が始まった当初、私は英語もスペイン語もまだ身になっていませんでした。授業中や、留学生と話すときは英語、それ以外はスペイン語というような生活の中で、自分の能力に自信が持てず失敗や間違いを恐れて何も話すことが出来ませんでした。しかし、勉強して、たくさん学んでいく中で他の人が言っていることが理解できるようになることで徐々に自信がついてきて、より自分の考えを発信したりコミュニケーションが取れるようになってきました。私が、語学学習に関してやっていたことは、前期は、授業に集中するためにもまず、英語を中心に勉強していました。スペイン語に関しては、授業に習ったことをその都度復習することをしていました。前期の終盤、ようやく授業も大体理解できるようになった頃、スペイン語メインの勉強を始めました。それ以降、スペイン語学習に関してしたことは、同じ学科のスペイン人の生徒とスペイン語で話すことと、勉強する際は、カフェテリアや、図書館でできるだけ現地のスペインの人々と関われるよう、図書館員の人に話しかけたり、カフェテリアの店員に何か言ってみたりすることをしていました。また、スペイン語のコースで、話せる機会があるときは、恥ずかしがらず積極的に話すようにしていました。会話以外では、授業の復讐はもちろん、Netflixでシリーズを見て新しい単語をメモしたり、言語の本をたくさん置いてある部屋が大学にあって、そこへ行ける時に行って、DELEの本でリスニングや、リーディングの練習をしていました。当初は、Hola としか言えなかったのに対して、まだまだ難しい話題について話すのは難しいものの、日常で友達とコミュニケーションができるようになるくらいレベルアップしたと思います。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

英語：スペイン語コースで多くの留学生と関わる機会があったので、休み時間にできるだけ話しかけるようにしていました。また、授業外でも英語に触れるためにNetflixのシリーズ、また、授業内の課題としてあたえられるテキストブックを利用して、それを会話などに生かせるようにしていました。積極的に話すことで、友達が増えたとし、リスニング力に大きく効果があったと思います。

スペイン語：スペイン語コースで習ったことはできるだけその日に復習し、会話の中ですぐに取り入れるように努力しました。そうすることで、単語を覚えやすくなりました。また、間違いを恐れず、積極的にスペインの人々と会うようにしていました。そうすることで、話すことに慣れ、より理解が深まるようになりました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

反省点として、言語のスキルに対して完璧を求めていることが会話力の向上を妨げていたと思います。私は留学してからしばらく周りの英語やスペイン語が流暢な留学生を見て、劣等感を持っていて、自分の言語スキルに自信が持てず何もしゃべらずにいることが多かったです。せつかく、勉強の時にインプットしているのにそれを出せずにいることはとてももったいないことだし、間違えたところでネイティブじゃないから仕方がないし誰も完璧を求めていると考えることによってよりリラックスして、学んだことを生かして自分が言いたいことを間違えながらも言えるようになりました。間違いを通して上達していくことの大切さを感じました。そこで、今後の留学志望者にそういう風に考えて、コンプレックスやプレッシャーを感じず楽しく言語習得をしてほしいなと思いました。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で得られたものは、言語能力以外にもたくさんあります。自分自身を自分で発信することで。例えば、留学当初私は、内気で自信もなく、発言や行動をあまりできずにいました。ホームステイをしているときに、私は、言語に自信がなく家族にあまり話しかけられずにいることが多かったです。そこで、家族から私があまり家族と触れ合いたくないんだと誤解をされてしまいました。きっと、私が考えていることを言葉や行動で表していたらそうならなかったと思います。その経験から、積極的に自分自身を発信し始めた時に、たくさんの大事な仲間と出会うことが出来ました。そこで、お互いの文化についてや、自分のことについてシェアをし始めることでより仲を深めていきました。また、いろいろな国から来た人と出会う中で、多くの文化を受け入れられるようになり視野が広くなり、考えも柔軟になったと思います。それは、異文化を多く知っただけでなく、日本とはどういう国なのか、どういう文化なのかということ客観的に考えるようになり、日本の良さをたくさん感じたし、ここは、こうしたらいいんじゃないかなど、自国について自分の意見を持てるようになったと思います。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

生活面のアドバイスとして、まず日用品については、インスタントの日本食や日本のお菓子は持っていけるだけ持っていったほうがいいと思います。万が一余った時でも現地の友達にプレゼントとして渡すこともできます。また、コンセントの変換機、パソコンは必ずいります。現地では、パソコンを使うことがほとんどでした。そして、私は持っていきませんでした。スペイン語の文法や単語の本は持参していったほうがいいなと思いました。

また、住む場所について、ホームステイプログラムが推奨されていますが、私はルームシェアをすることをお勧めします。なぜなら、ホストファミリーと住むことで、しっかりとその家のルールを理解して適応すること、家事の手伝いを強要されたり、友達との約束を断り家族を優先したりするなど、関係を維持していくためにとても気を付けなければならないことが多いし、自分の時間を管理することがより難しいと思います。一方で、ルームシェアでは、お互いのパーソナルな時間が保てるし、同じ年代で仲良くなりやすいし言語の上達もよりよくみられると思います。また、門限なども気にせず友達との時間も勉強する時間も大事にすることができます。しかし、部屋を探す場合は、事前にトラブルを防ぐためにも、一緒に住む人をしっかり選ぶ必要があります。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月29日	
派遣先国	スペイン	
派遣先大学	ジャウマ I 大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(English studies) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部	英語英文学科
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年9月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	スペイン人の3人家族と住んでいました。私専用の個室がありました。家族の部屋を合わせると5部屋でした。1LDKほどの広さでした。
4	入居時手続き	大学を通して行いました。ホームステイについての案内がメールにて送られてくるのでそこからホームステイを希望しているという、いくつかの家族が紹介され、そのうちから希望する一つの家族とコンタクトを取り、現地到着まで連絡を取り合っていました。
5	費用 (月額)	約 50000 円
6	食費 (月額)	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 円
7	支払方法	(毎月現金で支払い)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
10	周囲環境	近くに一つスーパーがあり、銀行もありました。
11	アクセス	大学から徒歩 40 分、自転車で 15 分ほどでした。バス停までは、徒歩 5 分から 10 分でした。
12	留学中の住居に関して アドバイス	私はホームステイファミリーと6ヵ月暮らした後、わずか1ヵ月ほどでしたがルームシェアに変えました。なぜなら、ルームシェアのほうがよりよく暮らせると考えたからです。ホームステイでは、スペインならではの料理、家族とのスペイン語での会話などの魅力的な部分はありますが、家族のルールを主に考えて、家族が優先の生活になりますし、生活もその家族ならではの部分が結構あると思います。そこから、トラブルやけんかのもとになったりもします。ホームステイを希望するならば、事前に家族のルール、生活の仕方など細かく事前に聞く必要があると思います。ルームシェアの良いところは、ルームメイトに気を使って過ごすことなく、自分のペースでスケジュールを組める

		し、年代が近いルームメイトを持つことが多いので、より言語を使う機会が増えると思います。スペイン語が話せる機会は、ホームステイ以外にたくさんあり、また、ルームシェアだと、家賃が 20000 円前後で安く住めます。
13	引越しされた方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()
14	詳細を教えてください	ルームメイト スペイン人の学生 3 人 間取り 1LDK

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	空港に ORANGE という携帯会社の店があるので、そこでチャージ式の SIM カードを買いました。
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	有線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1 ヶ月の平均)			
1	宿舍費	50000 円/月	備考 (460 ユーロ)
2	食費	150000 円/月	備考 (150 ユーロ)
3	交通費	1000 円/月	備考 (10 ユーロ)
4	通信費	1500 円/月	備考 (15 ユーロ)
5	娯楽費	10000 円/月	備考 (100 ユーロ)
6	図書費	円/月	備考 ()
7	学用品 (教科書など)	3000 円/月	備考 (30 ユーロ)
8	被服費	1500 円/月	備考 (15 ユーロ)
9	医療費	円/月	備考 ()
10	雑費・その他	円/月	備考 ()
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)			
11	出願料・宿舍デポジット	円/月	備考 ()
12	ビザ申請関連費	1500 円/月	備考 (15 ユーロ)
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	円/月	備考 ()
14	その他	円/月	備考 ()
15	留学全日程に要した総額 (概算)	1000000 円/合計	
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 200000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 :) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他 ()		
17	現地で銀行口座開設	してない	
18	お金に関するアドバイス	私は、日本の銀行でクレジットカードを作り、そのカードのキャッシング機能で現金を引き落とししていました。その引き落とし限度が、月 10 万円で、新しく更新されるのは毎月下旬でした。基本、家賃や、スペイン語講座などを上旬に支払っていて、次の家賃の支払いまでに現	

	金が引き落とせずには家賃振り込みが遅れることもたくさんありました。そのことから、できる限りキャッシュの限度額は、30万円にしておいたほうがいいと思います。
--	---

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	_____ (_____ か月分で _____ 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	腹痛のための薬、目薬、生理痛薬

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	インスタントの日本食、電子辞書、文房具、ノート、日本のお菓子、服（秋夏服 5日分）、化粧品など肌に付けるもの
2	現地で購入したもの
	コート、教科書
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの
	シャンプー、リンス、インスタントの日本食や日本のお菓子（たくさん）、調味料（醤油、みりん、お好み焼きの粉、お好み焼きソース、鰹節など）スペイン語の勉強用の本、シャープペンの芯、体を洗う用のタオル（現地では手で洗っている人が多く、タオルを使っていませんでした。）

VI. 留学先で困ったこと

生活面で困ったことは、上記の「お金に関するアドバイス」で書いたキャッシュの引き落としの問題です。生活面では、日本から持参したシャンプーが切れて、スペインで日本でも知られているシャンプーを買ったのですが、髪に合わずべたべたしたり、痛んだりしました。髪質が繊細で敏感なら、十分な量を持って行ったほうがいいと思います（1ボトルと詰め替え用2袋ぐらい）また、日本食が恋しくなることがたくさんあったので、もっと持って行けばよかったなと思いました。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

人それぞれですが、生活面で困る場面が結構多いと思います。困ったときは、自分でどうにかしようとするのではなく、現地の人や、他の日本人学生、留学生に積極的に相談したり、助けてもらったほうがいいと思います。たくさん不安なことがありますが、必ず乗り越えて、充実した留学生活が送れると思います。また、上記で書いた、「日本から持って行って便利だと思うもの」は個人的に持っていくことを強くお勧めします。日本食、お菓子は、自分のためだけでなく、他の留学生や、現地の人にプレゼントできるし、とても喜ばせることができます。また、日本の調味料を持っていくことで現地で出会った人々に料理を披露できます。経験上、たくさんの方が日本食が好きで、喜んでくれると考えています。